

ある発展に

一般会計 141億 200万円
 特別・企業会計 138億4,162万円



次代の担い手に
 快適な教育環境を

吉尾地区の幼稚園・保育園で 幼保一元化をスタート

教育文化環境の向上
 △幼保一元化に伴う園舎の増改修
 吉尾幼稚園と保育園を一体的に活用して、新たに4歳児の幼稚園教育と預かり保育の時間延長などを実施します。それに伴い、同保育園舎の増改修の工事を行います。

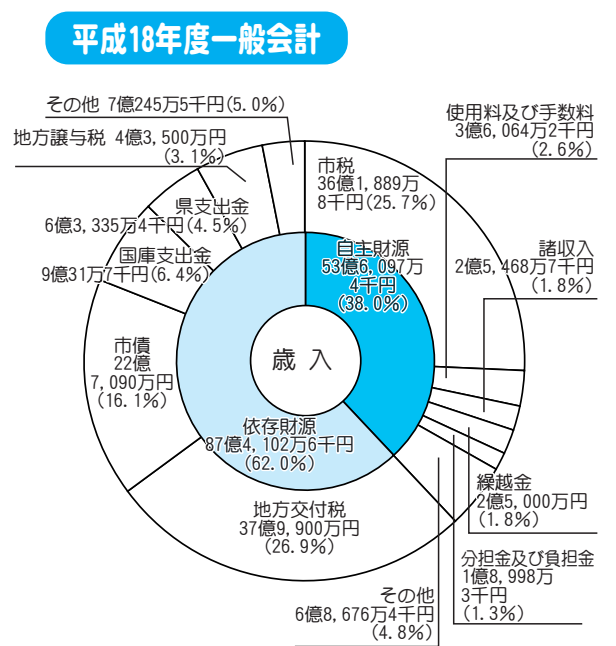
▽教育施設の整備
 太海小学校や江見中学校などのアスベスト対策工事のほか、陸上

多様化する住民ニーズに 限られた予算を有効活用

平成18年度の市の予算が決まりました。一般会計は141億200万円、特別会計と企業会計を合わせた予算総額は279億4362万円です。依然として厳しい財政状況のなか、限られた財源を有効に活用して、子育て支援や健康福祉、住民サービス、大学・教育施設との交流づくりなど各種事業に取り組んでいきます。それでは、今年1年間の予算や仕事のあらましについて見てみましょう。

平成18年度 予算特集

歳入



健康・福祉対策の推進
 △子育て支援センターの整備
 少子化対策が求められるなか、安心して出産や子育てができる環境づくりの拠点「子育て支援センター」を整備

西条地区に整備します 「子育て支援センター」

市内に教育研究施設を持つ大学との連携による交流事業や市内大

競技場スタンド席の屋根などの改修工事を行います。

△「学園のまちづくり」の推進
 市内に教育研究施設を持つ大学との連携による交流事業や市内大

り、地方譲与税が増額配分された一方、地方の財源不足を補う地方交付税や国庫支出金が大幅に減額されています。

そのほか、合併特別債を活用した（仮称）合併記念公園の整備に

より、市債が増額となっています。

なお、自主・依存財源の割合は、市税など市の自主財源が38.0%となる一方、地方交付税などの依存財源が62.0%となっています。



高齢者の生きがいづくりをお手伝い

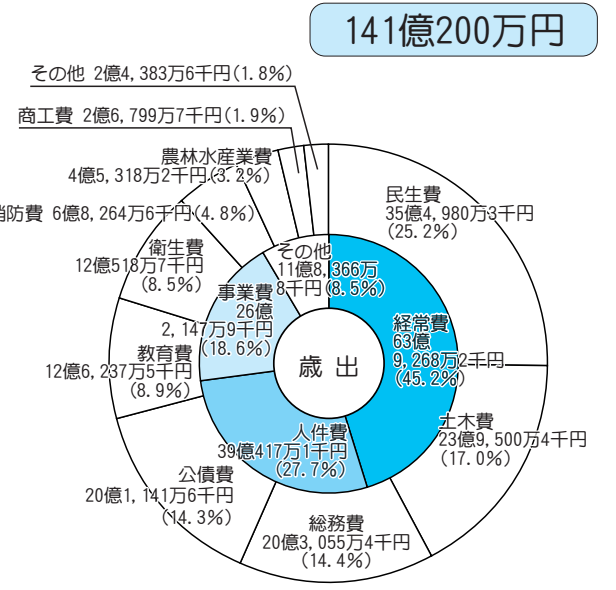
て支援センター」を、西条地区に整備します。

△高齢者の緊急通報システム整備
 急病や事故などが発生したときに、市内の受信センターと連絡を取ることが出来る「緊急通報機」を一人暮らしのお年寄り家庭に設置します。

△障害者の自立支援
 法の改正により、身体的・知的・精神的障害を持つ方が自立した生活を送れるよう、手続きやサービス環境の整備を行います。

歳出面では経常経費を一層削減し、市財政のスリム化や健全化に努めています。新しいまちづくりに向けて、教育や福祉、環境、産業などの施策に限られた財源を有効に配分しました。

主な新規事業は、（仮称）合併記念公園の整備や吉尾保育園の改修、子育て支援センターの整備、生活安全対策室の設置などです。



清澄簡易水道事業特別会計 547万円
 清澄地区に給水している清澄簡易水道事業。給水戸数75戸を見込み、年間約1万2,170トンの水道水をお届けします。

介護保険特別会計 25億3,430万4千円
 介護を必要とする人を社会全体で支援する制度です。自立支援や介護予防を重視するサービスが新たに導入されることから、これらの介護給付に23億2,558万4千円を支出します。

老人保健特別会計 46億9,270万8千円
 お年寄りの皆さんが健康で、安心してくらししていくために欠かせない制度です。高齢化社会が進むなか、医療費の増加を見込み今年度は医療諸費など46億9,270万8千円を計上しました。

国民健康保険特別会計 38億3,945万2千円
 農漁業や自営業の皆さんが、万一、病気やケガなどをしたときの医療保険です。加入世帯を9,038世帯、加入者を17,955人見込んでいます。主な支出は、お医者さんにかかったときの保険給付費に27億9,189万5千円を計上しました。

特別会計